

## 第71回 日経広告賞 「生産財・産業部門 最優秀賞」受賞のお知らせ

この度、当社が本年7月26日、8月1日の2週にわたり日本経済新聞 朝刊に掲載したシリーズ広告が、昨年に続き日経広告賞「生産財・産業部門 最優秀賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。当社では2020年の「環境部門 最優秀賞・環境大臣賞」から3年連続の日経広告賞の受賞となりました。

今回の広告では、新たな価値をプラスするサステナビリティ、すなわち「足すテナビリティ™」というキャッチフレーズを用い、CO<sub>2</sub>の削減に寄与する製品・工法を通じて、SDGs やカーボンニュートラルの実現に向けた当社の姿勢を表現しました。

当社は今回の受賞を機に、「道」創りを通して社会に貢献することで、皆様から信頼され必要とされ続ける企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

受賞広告につきましては次ページをご覧ください。

※ 日経広告賞は1952年にスタートした日本を代表する広告賞です。今回は2021年10月1日から2022年9月30日までに日本経済新聞紙上に掲載された広告が審査対象となりました。独創性や新規性、広告展開の工夫などの観点から、有識者による選考が行われます。

なお、贈賞式は12月8日に行われる予定です。

(日経広告賞：<https://marketing.nikkei.com/media/newspaper/adaward/index.html>)

<受賞広告>

製造温度を50℃下げても、スーパーなしなやかさ。クールで、タフなアスファルト誕生。

アスファルト舗装材は高温でつくることがあります。しかし、環境への影響を考えると、できるだけ低温でつくりたい。そこでニチレキは「ノリヤカアスファルト」のしなやかさはそのままに、舗装材を低温でつくる薬所に挑戦。その結果、従来の180℃より50℃も低い130℃で舗装材を製造することに成功。燃料消費で発生するCO<sub>2</sub>排出量約22%削減を実現しました。地球にやさしく進化させた新製品「スーパーノリヤカアスファルト」は、他のアスファルト舗装より約2倍長持ちさせ、補修工事の回数を約1/2に減らすことも可能。お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのCO<sub>2</sub>排出削減ニーズに加え、持続可能な道づくりに貢献します。より長持ちする舗装材を、CO<sub>2</sub>排出を抑えながらつくる。環境の恩恵も減らして、工事の際に発生するCO<sub>2</sub>も削減する。それが、新たな価値を「プラス」する、私たちの「サステナビリティ」。つまり、ニチレキの「足すサステナビリティ」なのです。

**足す「プラス」するサステナビリティ**

ニチレキは、新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。



〒120-8222 東京都千代田区北 4-3-29  
<https://www.nichireki.co.jp/>



傷んだ路面を再利用して、道路強靱化。テクノロジーの「二重奏」で実現します。

道路を修繕する際には、まず傷んだ舗装を取り去った後、新たな材料を現場に投入して埋め戻す工程が必要でした。しかし、ニチレキの「スタビセメントRC工法」なら傷んだ舗装をそのまま再利用。消費を8割以上削減することができます。さらに、この工法で舗装した車道の上には、完全な舗装材「スーパーノリヤカアスファルト」を舗装すると、他と比べて2倍以上も長持ちする道がつくれるのです。丈夫な道は補修回数も減るので、補修工事で発生するCO<sub>2</sub>を約48%削減できます。また、「スタビセメントRC工法」は、地震にも強いので防災・減災といった効果も期待できます。廃棄するしかなかった傷んだ舗装をリサイクルする。さらに、これまでにない強さを加えていく。それが、新たな価値を「プラス」する、私たちの「サステナビリティ」。つまり、ニチレキの「足すサステナビリティ」なのです。

**足す「プラス」するサステナビリティ**

ニチレキは、新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。



〒120-8222 東京都千代田区北 4-3-29  
<https://www.nichireki.co.jp/>



上から 2022年7月26日、8月1日掲載分（日本経済新聞 朝刊 全30段・カラー）

以上